

# 国道1号北勢バイパス 要望書



市道日永八郷線～国道477号バイパス間(延長4.1km) 令和6年度開通見込み

令和6年1月

北勢バイパス建設促進期成同盟会

会長 森 智広

四日市商工会議所

会頭 小川 謙

# 要 望 書

平素は、北勢バイパスの整備促進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

国においては、防災・減災対策や老朽化した社会インフラ対策など、国土強靱化の推進を重点的に取り組まれております。

私ども同盟会会員市町といたしましても、防災・減災対策や道路施設の老朽化対策など、住民生活の基盤となる安全・安心なまちづくりに積極的に取り組んでいるところです。

四日市市を中心とした北勢地域は、石油化学・半導体・自動車をはじめとした多様な産業が集積し、国際拠点港湾四日市港と高速道路網が相まって、我が国の経済・物流を支える拠点地域となっています。

しかしながら、日常的に発生している国道1号、23号の**渋滞**は、**経済活動の阻害要因**となり、**生活環境の悪化**にもつながっています。

また、南海トラフ巨大地震による津波浸水において、第1次緊急輸送道路に指定されている国道1号、23号で浸水被害が予測されています。北勢バイパスの整備により、第1次緊急輸送道路が拡充され、防災拠点間の連絡経路が確保されるとともに、津波浸水域を迂回した道路啓開ルートが形成されることとなり、**防災**の面からも津波浸水被害を受ける恐れのある国道1号、23号に代わる**緊急輸送道路(命の道)**として、北勢バイパスの早期整備が必要です。

一方、北勢バイパスが開通した区間においては、**沿線企業の設備投資や新たな雇用創出などのストック効果**が現れており、広域的な道路ネットワークの形成が地域経済の発展のために、ますます重要性を増しております。さらに、令和5年11月19日に暫定2車線で全線開通となった**中勢バイパス**と、**北勢バイパス**および**鈴鹿四日市道路**が一体的に整備されることで、あわせて総延長約60kmのダブルネットワークが形成され、**県全体としてのさらなる整備効果も最大限発揮**されることとなります。

よって、北勢バイパスの整備をはじめ、産業活動と住民の安全・安心な生活を支える各種道路整備並びに道路インフラの老朽化対策に必要な予算を確保されるよう右記の通り強く要望いたします。

## 記

1. 北勢バイパスは、新たな道路ネットワークの構築による経済の好循環を図り、新規企業の進出や企業の設備投資などの産業面のストック効果を更に高めることから、早期全線開通に向けて必要な事業費を確保すること。
2. 令和6年度の開通見通しが公表されている市道日永八郷線～国道477号バイパス間について、一日でも早く開通を図るよう事業を加速させること。
3. 国道477号バイパス～四日市市采女町(国道1号)間においても整備に向けた調査設計を推進し、早期に暫定2車線での全線開通を図ること。
4. 暫定2車線開通区間(三重郡朝日町小向(国道1号)～市道日永八郷線)について、速やかな4車線化を図ること。
5. 鈴鹿四日市道路の整備を推進すること。
6. 資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、道路の老朽化対策及び地方が必要とする道路整備・管理を長期安定的に進めるため、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算の総額を確保すること。
7. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後においても、昨今の地震・豪雨などの災害状況も踏まえた上で、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算に加えて別枠で確保して、継続的・安定的に取り組むこと。

北勢バイパス建設促進期成同盟会 会長 森 智広

会員市町 四日市市長 森 智広 鈴鹿市長 末松 則子

朝日町長 矢野 純男 川越町長 城田 政幸

菟野町長 諸岡 高幸

四日市商工会議所

会頭 小川 謙

# 北勢バイパスの早期整備について

## 【事業中区分】

- 市道日永八郷線～国道477号バイパス(令和6年度開通見通し) **一日も早い開通**  
北勢バイパスが国道477号バイパスを通じて、新名神高速道路と早期につながることで、道路ネットワークが飛躍的に向上
- 国道477号バイパス～国道1号(四日市市采女町) **事業推進**  
暫定2車線開通

- 暫定2車線開通区分(国道1号(三重郡朝日町小向)～市道日永八郷線) **事業推進**  
速やかな4車線化

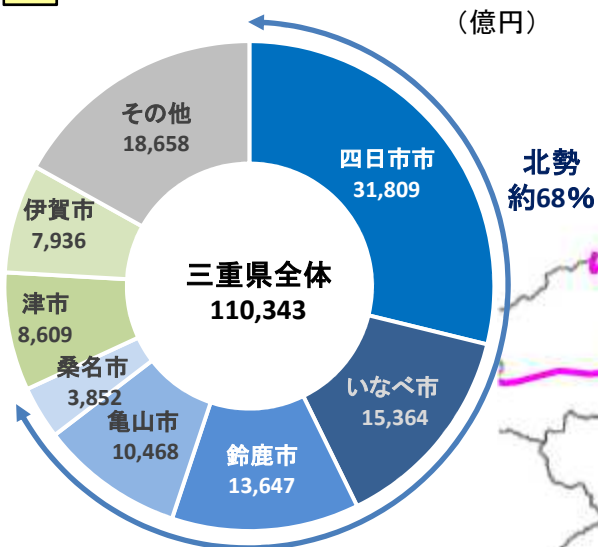
- 鈴鹿四日市道路(国道1号(四日市市采女町)～中勢バイパス(鈴鹿市稲生町)) **事業推進**  
三重県内の道路の南北軸を形成(国道23号とダブルネットワーク化)



# 北勢バイパスの早期整備による効果は絶大！

- (1) 三重県の北部(北勢地域)に多くの産業が集積する中で、特に四日市市・鈴鹿市は**産業・物流の拠点地域**。(下記A, B)
  - (2) 四日市港(国際拠点港湾)の**利用促進、国際競争力の強化**。
  - (3) 国道1号、23号の渋滞緩和は、円滑な**産業・物流活動を促進し**、生活環境も向上。
  - (4) 沿線に企業(工場)の新規立地や設備投資が進展し、**地域経済の発展等、ストック効果が発現**。(下記C)
  - (5) 鈴鹿四日市道路の整備による、北勢バイパスと中勢バイパスの接続は、三重県内の南北主要幹線道路の**ダブルネットワーク形成につながり、三重県全体への波及効果大**。
- ➡ **生産性向上による成長力の強化！**
- (6) 南海トラフ巨大地震による**津波浸水被害が想定される**国道1号、23号に代わる**緊急輸送道路として機能**。
- ➡ **国土強靱化に寄与！**

## A R4 三重県市町別製造品出荷額等 (億円)



## B 全国の都市の中で第10位

### R4 製造品出荷額等の市町ランキング

順位	市	製造品出荷額等
1	豊田市	14兆9757億円
2	倉敷市	4兆6185億円
3	市原市	4兆2500億円
4	堺市	4兆2306億円
5	横浜市	4兆1532億円
6	大阪市	4兆0818億円
7	川崎市	3兆9571億円
8	神戸市	3兆4208億円
9	名古屋市	3兆3553億円
10	四日市市	3兆1809億円
11	大分市	3兆1756億円
12	広島市	2兆7761億円
13	北九州市	2兆6289億円
14	京都市	2兆6207億円
15	安城市	2兆5921億円

(R4経済構造実態調査より)

## C 沿線の企業 KIOXIA(株)四日市工場



津波浸水区域(施設なし) 三重県 平成23年版予測  
 主要渋滞箇所(117) 三重県道路交通渋滞対策推進協議会

北勢バイパス建設促進期成同盟会



SUZUKA  
KOMONO  
YOKKAICHI  
ASAHI  
KAWAGOE

ひらく つながる みえの未来へ

1 北勢バイパス